

■世界：シンクタンク、CCSの実現は困難

地球温暖化政策基金（Global Warming Policy Foundation）は2017年6月28日、「THE BOTTOMLESS PIT（奈落）」と題した報告書を発表した。執筆したエジンバラ大学経済学教授で、世界銀行元顧問のゴードン・ヒューズ教授（経済学）は、二酸化炭素回収・貯留（CCS）の実現可能性は厳しいと警告している。同教授は「石炭火力発電所で炭素回収を実現するため、これまで多額の資金を費やしてきた。しかし、途上国では将来にわたって石炭が使用される一方、CCSのコストが高くなり過ぎている。CO₂削減への対応では、天然ガスの利用が趨勢になっており、CCSは選択肢に入っていない。」としている。また、「経済的に有意であれば、ガス火力発電所にCCSを設置する戦略に切り替えれば、石炭火力発電所への設置コストに比べると、低いコストで炭素排出量を削減することができる。その場合、CCS技術がガス火力発電所に設置されても、コスト的には、再生可能エネルギーと原子力発電を安く見せてしまう」としている。